

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 加熱油脂劣化度判定用試験紙 AV-CHECK
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
会社名称 : 東洋濾紙株式会社
住所 : 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル5階
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 03-5521-2176
FAX番号 : 03-5521-2177
メールアドレス : trk-hinsho@advantec.co.jp
推奨用途 : 加熱油脂の劣化度判定
使用上の制限 : 上記以外の用途にご使用される場合は、
事前にご相談ください。



2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性 : 区分に該当しない
健康有害性
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 区分2
発がん性 : 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分3 気道刺激性
環境有害性
水生環境有害性 短期（急性） : 区分3
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起 : 警告。
危険有害性情報 : 皮膚刺激。
強い眼刺激。
発がんのおそれの疑い。
呼吸器への刺激のおそれ。
水生生物に有害
長期連続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

: 取扱後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水（噴霧）、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。
- 使ってはならない消火剤 : データなし。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : データなし。
- 環境に対する注意事項 : データなし。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火器のそばの取扱いに注意する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
取扱い後は手をよく洗う。
- 保管 : 変質および吸湿による劣化を防止するため、直射日光を避け、密封し、室温で保管する。防湿に留意する。酸化物質、有機過氧化物等と、同一場所に置かない。ボイラーなど、熱源付近や可燃物の近くに置かない。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 日本産業衛生学会 : 1f/ml (暫定値) (ガラス繊維)
ACGIH : 1f/cc [長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/直径)3以上の吸入性繊維] だが、濾紙としては設定されていない。
- 設備対策 : 必要に応じて局所廃棄および洗顔、洗身、うがい、行為設備などの設置を講じる。
- 保護具 : 必要に応じて使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体、表面が平滑な紙。
- 色 : 青色。
- 臭い : なし。
- 融点/凝固点 : データなし。
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし。
- 可燃性 : あり。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 該当しない。
- 引火点 : 該当しない。
- 自然発火点 : 該当しない。
- 分解温度 : 該当しない。
- pH : データなし。
- 動粘性率 : 該当しない。
- 溶解度 : データなし。
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし。
- 蒸気圧 : データなし。
- 密度又は相対密度 : データなし。
- 相対ガス密度 : 該当しない。
- 粒子特性 : データなし。

1 0. 安定性及び反応性

反応性	：	通常の取扱い条件では安定。
化学的安定性	：	通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	：	データなし。
避けるべき条件	：	高温、高湿、強酸、強アルカリ、フッ酸との接触を避ける。
混触危険物質	：	酸化剤。
危険有害な分解生成物	：	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、アクロレイン、酸化ナトリウム。

1 1. 有害性情報

急性毒性

経口

- ：
- 区分に該当しない。
- 混合物の成分の急性毒性推定値（A T E）を加算式による計算値から判定した。
- （成分として）
- 区分に該当しない。（ガラス繊維）
- 区分に該当しない。
- ラット LD₅₀=27,200mg/kg（グリセリン）
- 区分に該当しない。
- ラット LD₅₀=2,800mg/kg（炭酸ナトリウム）
- 区分 4 ラット LD₅₀=1,700mg/kg
（ポリエチレングリコールモノ-p-イソオクチルフェニルエーテル）

経皮

- ：
- 区分に該当しない。
- （成分として）
- 区分に該当しない。（ガラス繊維）
- 区分に該当しない。
- ウサギ LD₅₀>18,700mg/kg（グリセリン）
- 区分に該当しない。
- ウサギ LD₅₀>2,000mg/kg（炭酸ナトリウム）

吸入：ガス

- ：
- 区分に該当しない。

吸入：蒸気

- ：
- 区分に該当しない。

吸入：粉塵、ミスト

- ：
- データ不足のため分類できない。

（成分として）

区分 4 ラット LC₅₀=1.2mg/L/4h

（炭酸ナトリウム）

皮膚腐食性／刺激性

- ：
- 区分 2
- 混合物の成分濃度から区分 2 とした。
- （成分として）
- 区分 2 （ガラス繊維）
- 区分に該当しない。ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、刺激性が認められなかった。（グリセリン）
- 区分に該当しない。（炭酸ナトリウム）

- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 混合物の成分濃度から区分 2 とした。
(成分として)
区分 2 B (ガラス繊維)
区分に該当しない。ウサギを用いた眼刺激性試験において、刺激性が認められなかった。
(グリセリン)
- 区分 1 ウサギを用いた試験において、「刺激性なし」～「強い刺激性」と相反する結果が出ている。その中の 1 つの試験で非洗浄眼の場合全例に角膜、虹彩、結膜（発赤、浮腫）に症状が発生し、14 日の経過観察期間終了時も症状が残り、ドレイズの最大スコア平均 (MMTS) が 105 と報告されている。また、別の試験の非洗浄眼では、暴露後 1 時間で角膜混濁を生じ重度の影響が 7 日まで持続し、ドレイズの平均評点が角膜で 3.8、虹彩で 2 であり、一部の動物で角膜パンスおよび円錐角膜を起こしていた。以上の結果は重篤で不可逆的眼損傷性を示しており、区分 1 に該当する。
(炭酸ナトリウム)
- 区分 2 A ウサギ 7 から 21 日後に回復
(ポリエチレングリコールノン-イソオクチルフェニル)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
(成分として)
皮膚感作性 区分に該当しない。マウスを用いた LLNA 法 (OECD TG429) において、濃度 100% での SI 値は 0.5、50% での SI 値は 0.7、25% での SI 値は 1.1 であった。
(グリセリン)
- 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。
(成分として)
区分に該当しない。
(ガラス繊維)
- 発がん性 : 区分 2
混合物の成分濃度から区分 2 B とした。
(成分として)
区分 2 IARC グループ 2 B に分類される。
(ガラス繊維)
- 生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
(成分として)
区分に該当しない。
(グリセリン)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 区分3（気道刺激性） 混合物の成分濃度から区分3（気道刺激性）とした。 （成分として） 区分3（気道刺激性）（ガラス繊維） 区分3（気道刺激性）ラット、マウスおよびモルモットを用いた試験において、吸入暴露直後に呼吸障害を起こし、呼吸困難および喘鳴音が認められ、3-4時間後に収まったとの記載より区分3とした。（炭酸ナトリウム） 区分3（麻酔作用）ラットに経口投与後の症状として運動失調、虚脱、嗜眠が記述され、生存例では5日目までに症状が消滅している。また、経皮投与後24時間の間に嗜眠が観察されたが死亡の発生は無かったと記載されている。従って症状には回復性があり、区分3とした。（炭酸ナトリウム）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： データ不足のため分類できない。 （成分として） 区分に該当しない。（グリセリン）
誤えん有害性	： データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	： 区分3 混合物の成分濃度から区分3とした。 （成分として） 区分に該当しない。 オオミジンコ $LC_{50}=1,955\text{mg/L}/48\text{H}$ （グリセリン） 区分2 ブルーギル $LC_{50}=3\text{mg/L}/96\text{H}$ （ポリエチレングリコールノニルオキチルフェニルエーテル）
水生環境有害性 長期（慢性）	： 区分3 混合物の成分濃度から区分3とした。 （成分として） 区分2 （ポリエチレングリコールノニルオキチルフェニルエーテル）
残留性・分解性	： データなし。
生体蓄積性	： データなし。
土壤中の移動性	： データなし。
オゾン層への有害性	： データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）。

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報： 消防法における指定可燃物に該当する。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	： 第五十七条、第五十七条の二 施行令第十八条、 十八條の二 別表第九 名称等を表示し、又は通知 すべき危険物及び有害物（政令番号 三百十四 人造鉱物繊維）（ガラス濾紙）
化学物質排出把握管理促進法	： 第一種指定化学物質（政令第408号） （ポリエチレングリコールモノ- p -イソオクチルフェニルエーテル）
消防法	： 第九条の四（指定数量未満の危険物等の貯蔵又は 取扱いの基準）、危険物の規制に関する法令第一 条の十二、別表第四指定可燃物（ぼろ及び紙くず。 1,000kg以上は消防法の適用を受ける。1,000kg未 満の場合、物品の貯蔵及び取扱いの技術上の基準 は市町村条例で定める）。

1 6. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ GHSに基づく化学品の分類方法（JIS Z 7252:2019）
- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253:2019）